

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		総務部 危機管理課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	08	消防費
	項	01	消防費
	目	04	防災費

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 1 安全で安心して暮らせるまちに
 重点的取組 2 災害に強いまちをつくる

事業名	応急物資管理事業	事業開始年度	平成 25 年度
	災害応急備蓄物資の管理（集中及び分散による管理）	根拠法令 条例 個別計画等	災害救助法・災害対策基本法 県災害応急救助物資備蓄調査検討報告書、県・市地域防災計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	・災害により被災し、避難した住民	被災した住民が生命を保ち、一定程度の生活水準を保てるように、必要量の食糧・毛布・生活必需品が防災倉庫及び避難所に備蓄されている。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	・備蓄計画に基づく適切な管理及び計画的な更新・補充	・請負業者 ・県	・仕様に適合した適切な商品の納品 ・災害発生後2日目に提供する食糧、生活必需品の備蓄

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> 集中管理する災害備蓄品の計画的整備 クラッカー等の消費期限切れ食糧の補充、生理用品等の生活必需品を購入した。 また、指定避難所等で避難生活を送る避難者の身体的負担を軽減するため、エアマットの配置を平成27年度から5年間で計画し、初年度として1,320枚を購入した。 分散配置箇所の拡充 クラッカー等の食糧、生理用品等の生活必需品、発電機等の避難所運営で必要となる備品を購入し、5箇所の避難所に配置した（平成24年度から平成27年度までの4年間で計20箇所の避難所に災害備蓄品の配置計画を推進）。 配置避難所：中央市民センター 平良小学校 大野小中学校 柿の浦集会所 友和市民センター 														
	【歳出】														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">2,666,388 円</td> </tr> <tr> <td>需用費（備蓄品購入）</td> <td style="text-align: right;">2,276,886 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">82,998 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">306,504 円</td> </tr> </table>								2,666,388 円	需用費（備蓄品購入）	2,276,886 円	役務費	82,998 円	備品購入費	306,504 円
		2,666,388 円													
	需用費（備蓄品購入）	2,276,886 円													
	役務費	82,998 円													
	備品購入費	306,504 円													
	コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越								
		財源内訳	直接事業費 A	3,491,466	2,666,388										
			国庫支出金												
県支出金															
借入金（市債）															
その他(使用料など)															
		市（市税など）	3,491,466	2,666,388											
	人件費(按分) B	0.10 人 857,400	0.20 人 1,729,800												
	総事業費(A+B)	4,348,866	4,396,188												
到達目標	活動成果	活動	分散配置備蓄品の整備	箇所	H26実績値 15	H27目標値 20	H27実績値 20	備考							
		成果													